

令和2年度 活動報告

会議名	主な内容								
<p>全体会</p>	<p>開催数：1回</p> <ul style="list-style-type: none"> ●令和2年度活動（各部会）報告について ●令和2年度実施事業について <ul style="list-style-type: none"> ・障害者計画・障害福祉計画（第6期）の進捗状況 ・発達障害支援について ・その他 ●令和3年度活動方針（案）について ●意見交換 								
<p>相談運営支援調整及び協議</p>	<p>運営会議及び相談支援調整会議</p> <p>開催回数：11回</p> <ul style="list-style-type: none"> ●計画相談支援の現状について ●障害者の防災について（市の制度についての学習及び啓発活動の充実） ●困難事例の対応について（意見交換） ●市における社会資源の整理（図作成） ●各部会活動の報告及び課題の意見交換 								
<p>専門部会</p>	<table border="1"> <tr> <td data-bbox="172 1323 373 1480">生活支援部会</td> <td data-bbox="373 1323 1554 1480"> <ul style="list-style-type: none"> ●支援者の防災施策の理解と障害者への防災施策の周知拡大（自助啓発） ●移動に関する現状把握と情報共有 </td> </tr> <tr> <td data-bbox="172 1480 373 1630">就労支援部会</td> <td data-bbox="373 1480 1554 1630"> <ul style="list-style-type: none"> ●情報共有や意見交換により課題を把握し、今後の方向性や支援方法を検討（就労定着支援、就労アセスメント等） ●就労アセスメント調整会議の実施 </td> </tr> <tr> <td data-bbox="172 1630 373 1780">こども部会</td> <td data-bbox="373 1630 1554 1780"> <ul style="list-style-type: none"> ●利用できる社会資源の整理、リーフレット作成 ●リレーファイルの現状と活用の検討（アンケート実施） ●関係機関による医療的ケア児等支援の情報共有 </td> </tr> <tr> <td data-bbox="172 1780 373 1928">居住福祉部会</td> <td data-bbox="373 1780 1554 1928"> <ul style="list-style-type: none"> ●居住に関する課題の抽出と整理（アンケート実施） ●グループホームの現状把握（聞き取り） </td> </tr> </table>	生活支援部会	<ul style="list-style-type: none"> ●支援者の防災施策の理解と障害者への防災施策の周知拡大（自助啓発） ●移動に関する現状把握と情報共有 	就労支援部会	<ul style="list-style-type: none"> ●情報共有や意見交換により課題を把握し、今後の方向性や支援方法を検討（就労定着支援、就労アセスメント等） ●就労アセスメント調整会議の実施 	こども部会	<ul style="list-style-type: none"> ●利用できる社会資源の整理、リーフレット作成 ●リレーファイルの現状と活用の検討（アンケート実施） ●関係機関による医療的ケア児等支援の情報共有 	居住福祉部会	<ul style="list-style-type: none"> ●居住に関する課題の抽出と整理（アンケート実施） ●グループホームの現状把握（聞き取り）
生活支援部会	<ul style="list-style-type: none"> ●支援者の防災施策の理解と障害者への防災施策の周知拡大（自助啓発） ●移動に関する現状把握と情報共有 								
就労支援部会	<ul style="list-style-type: none"> ●情報共有や意見交換により課題を把握し、今後の方向性や支援方法を検討（就労定着支援、就労アセスメント等） ●就労アセスメント調整会議の実施 								
こども部会	<ul style="list-style-type: none"> ●利用できる社会資源の整理、リーフレット作成 ●リレーファイルの現状と活用の検討（アンケート実施） ●関係機関による医療的ケア児等支援の情報共有 								
居住福祉部会	<ul style="list-style-type: none"> ●居住に関する課題の抽出と整理（アンケート実施） ●グループホームの現状把握（聞き取り） 								

生活支援部会 活動報告

年度	令和2年度	
活動方針	<ul style="list-style-type: none"> ・防災に携わる関係機関との連携協力 ・宇和島市の防災施策の周知拡大…自助啓発 	<ul style="list-style-type: none"> ・当事者からの声を聞き問題点・課題を探る
取組み	<p>●部会委員 構成人員 4名（事務局を除く） 上半期、防災啓発活動の学習会準備及び配布に軸におき、下半期、移動問題に対する取り組みを行った。</p> <p>1、防災啓発活動について 愛媛県が出しているパンフレット（障がい者災害のてびき）等の配布に当たって、配布及び説明をお願いする相談支援専門員に障がいをお持ちの方及びその家族向けに防災に対しての基本的理解や宇和島市が行っている取り組みの周知をしてもらったうえで配布することが効果的で大事だと判断し、令和2年6月17日学習会を開催。学習会以降、各自配布して頂いた。また、令和3年2月10日第11回運営会議及び相談支援調整会議にて配布後にどのような反響があったか相談支援専門員に確認する機会を持った。</p> <p>2、移動問題について 令和2年11月、第8回運営会議及び相談支援調整会議にて移動問題で困っている事例はないか現状確認及び情報交換の機会を持った。</p> <p>●部会開催 第1回(R2/5/20) 「障がい者防災の学習会の打ち合わせ」 第2回(R2/6/17) 「障がい者防災について」 第3回(R3/1/20) 「来年度の検討内容について」 ※運営会議及び調整会議後に随時、意見交換や電話等を行った。</p>	
成果	<p>1、防災啓発活動について 当事者の住んでいる地域性・生活環境や障がい特性等により当事者の反応は様々だったが情報の提供によりまずは防災について知ってもらうことにはつながった。また、当事者への説明をとおして防災に対する抱えている個別の実態や障害による配慮点など見えてきたことも多く、今後も自助の啓発を中心に宇和島市の防災の取り組みの周知・拡大を目指し、長期的な期間で地道に防災啓発活動を継続していく。</p> <p>2、移動問題について 思ったより困っているという話は少なく、第8回運営会議及び相談支援調整会議ででた問題・課題としては、①人材不足、②制度の利用要件が厳しい、③経済的な問題（遠距離になると料金もかさみ金銭的に難しい）が挙げた。今後この問題を扱うか部会で話し合った結果、困っている人は少なからずいるため、このままこの問題を放置したままではよくないとの意見もあった。そのため困っているケースを中心に整理と抽出を行い移動問題について考えていく方向となった。</p>	
課題	<ul style="list-style-type: none"> ・宇和島市の防災の取り組みの周知・拡大…自助の啓発（障がい特性等によっては理解度に影響があるため、防災啓発活動をとおして当事者にどう意識向上を促すか。） ・防災に携わる関係機関との連携。 ・既存のサービスはあるが、移動面で困っている人々がいる。そのため困っているケースを中心に問題整理と課題抽出を行い移動問題について考えていく。 	

就労支援部会 活動報告

年度	令和2年度	
活動方針	<p>情報収集や意見交換の場を設けることで、地域課題や当事者のニーズを把握し、今後の方向性や支援方法について共通認識を深める。</p>	<p>就労支援事業所(移行・定着支援)を交え、成功事例や困難事例に関する検討会を実施し、現状把握と課題の抽出につなげる。</p>
取組み	<ul style="list-style-type: none"> ●部会委員 構成人員 7名（事務局を除く） <ul style="list-style-type: none"> ・教育関係1名（宇和特別支援学校進路課） ・就労関係3名（ハローワーク・きら・八つ鹿工房） ・相談支援3名（豊正園・八つ鹿工房・南愛媛療育センター） ●部会開催 <ul style="list-style-type: none"> ・第1回(6/15) 「活動方針及び年間計画の確認」 ・第2回(9/14) 「就労アセスメントの実施状況について」 ・第3回(11/30) 「就労定着支援の現状と課題について」 ・第4回(1/25) 「R2年度の反省とまとめ」 ●その他の活動 <ul style="list-style-type: none"> ・就労アセスメント調整会議（特別支援学校・就労移行支援事業所・相談支援事業所） ・宇和特別支援学校の進路状況の確認 ・mini合同説明会in宇和島の結果報告 ・就労A型事業所の賃金について(最低賃金除外申請の条件等) 	
成果	<p>新型コロナウイルスの影響を受け、外部に出向いた活動や他機関との連携・情報発信が難しい状況にあったが、内容によって部会の参加者を変更し、できるだけ柔軟に対応することで、会の発展と成長につなげることができた。</p> <p>また、特別支援学校と就労移行支援事業所との調整・連絡役を担うことで、対象者全員の適正な実施と評価を行うことができ、希望するサービスの利用につなげることができた。</p>	
課題	<ul style="list-style-type: none"> ・障害者雇用(一般就労)に向けた具体的な取り組みと定着支援 ・就労支援事業所との連携や困難事例への対応(検討会の開催含む) ・コロナ禍での活動維持(再開に向けた段階的な取り組み・web会議の導入等) 	

子ども部会 活動報告

年度	令和2年度
活動方針	①利用できる社会資源（福祉サービス、相談窓口等）をわかりやすく整理し、情報共有を図り連携の資とする。 ②リレーファイルの活用時期を整理し見える化すると共に、各関係機関等に活用方法を具体的に周知する。 ③医療的ケア児について関係機関の協議の場とし、実態把握や情報共有、連携体制の構築を行う。
部会委員 (13名)	福祉事業所：あけぼの園、なないろの羽 相談支援事業所：南愛媛療育センター、はーと 親の会：こころ根っこ・ゆうきの会 教育：学校教育課 保健：吉田支所 福祉課：子育て支援係 事務局：障がい福祉係
取組み	<p>●部会開催</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第1回（6/24）①今年度活動方針について ②リレーファイルの活用促進について ・第2回（9/14）①福祉課の相談窓口周知について ②リレーファイルの現状と活用に向けて ・第3回（12/2）①福祉課の相談窓口周知について ②リレーファイルの現状と活用に向けて ・第4回（2/16）①年度のまとめと来年度の方針について ②リレーファイルの現状と活用に向けて ③医療的ケア児の現状について <p>●主な活動内容</p> <p><u>活動方針①について</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・利用できる社会資源については子育て支援室が子育て応援ブックを作成済み（子育て支援情報）、就労支援情報については、ねっとWorkジョイが作成予定である。障害福祉係でも年度はじめにリレーファイルをもとにした来所相談用の相談窓口の紹介リーフレットを作成した。そのため新たに社会資源一覧の整理はせず、既存の資料を利用することとした。 ・部会の意見をもとに「発達相談に関する窓口」リーフレットが完成した。 <p><u>活動方針②について</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・リレーファイルの活用についてアンケートを実施し、現状と課題を明らかにした。 （回答：こころ根っこ・ゆうきの会、あけぼの園、なないろの羽、公立保育所・認定こども園、学校教育課、保険健康課、子育て支援コーディネータ、南愛媛療育センター相談支援事業所） ・リレーファイルの活用について各機関で今後取り組むことを検討した。 <p><u>活動方針③について</u></p> <p>対象となる医療的ケア児が少ないこと、コロナ禍で研修に限りがあり伝達できる情報が少ないこと等の理由により、協議ではなく情報共有にとどまった。</p>
成果	<p>1. リレーファイルの活用について現状と課題を明らかにし、関係機関での今後の取り組みを検討した。</p> <p>【課題】 支援者・保護者双方の共通理解とはたらきかけが必要</p> <p>【今後の方向性】</p> <ul style="list-style-type: none"> ①保護者と支援者が作り上げていくという認識 ②活用についての共通理解 ③支援者からの積極的なはたらきかけ <p>2. 「発達相談に関する窓口」リーフレットを作成し、福祉課の相談窓口を関係機関に配布ホームページや広報、うわじま安心ナビ等で周知した。</p>
課題	<ul style="list-style-type: none"> ①リレーファイルの活用ガイドについて、必要性の有無を検討する。 ②障害のある子の家族の感じている課題の抽出と解決策の検討

居住福祉部会 活動報告

年度	令和2年度	
活動方針	<ul style="list-style-type: none"> ・居住に関するアンケートの配布実施 ・居住に関するアンケートの結果と意見を基に地域生活支援拠点整備事業への情報の提供や提言 	<ul style="list-style-type: none"> ・セーフティーネットサービスへの関わりの検討
取組み	<ul style="list-style-type: none"> ●部会委員 構成人員 4名（事務局を除く） <ul style="list-style-type: none"> ・豊正園 ・あいか 2名 ・柿の木 ●部会開催 <ul style="list-style-type: none"> 第1回(5/11) 「 アンケート内容の作成・修正 」 庁舎 202会議室 第2回(6/3) 「 アンケート配布方法と振り分け 」 A棟会議室（庁舎裏建物2階） 第3回(11/18) 「 アンケート集計と、内容の確認まとめ 」 調整会終了後 庁舎 701会議室 第4回(1/27) 「 アンケート最終まとめ 」 庁舎 702会議室 ●その他の活動 <ul style="list-style-type: none"> ・宇和島圏域入所施設、GHの現状把握（電話にて聞き取り） 	
成果	<p>今年度アンケートを実施し、対象となる障がい者全てではないが、当事者や家族の希望や意向が明確化され、ある程度の数値化が出来たと考える。 回答120件。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. (1) 男性・女性おおよそ半々で、(2) 20歳代～50歳代が80%を占め、(4) 障害種別では約半数近くが知的障がい者である。 2. 今後支援者が不在となった時に半数の方が、居ないと回答。 3. 支援者が居なくなった時に安心して生活できる場所があるかとの問いに、半数以上の方が、無いと回答。 4. 支援者が居なくなった時に生活の場としてどのような支援が必要ですかとの問いに、施設・GHとの回答が8割の方が回答。殆どの方が入所という念頭にあるが、GH等がまだ知られていない部分もあるのかと思慮される。生活の場＝施設という固定観念が強いのは。また、若い人や自身で動ける方は、自分で頑張るという気持ちが高い。その為、将来への準備という意識が持っていない方もいる。 <ul style="list-style-type: none"> ・ニーズ（入所系サービス）があり、将来の不安も大きい、地域資源が少ない。 ・入所施設は認知されているが、GHやその他の支援について認知が低い。情報が少ないのか？ ・災害時や突然支援者が居なくなる緊急時の場合の支援の内容と情報が必要（現在居住についての明確なものが構築出来ていない） 	
課題	<p>障がい者とその家族の希望や意向に沿ったものとして、福祉サービス（居住関係）について、どうすれば、当事者とその家族が将来の不安が減少し、どこに行けば対応してもらえるという確定したものが出来れば良いと思われる。その為に、</p> <ul style="list-style-type: none"> ・サービス（ハード面）が少ない状況。何がどう出来るか。（地域生活支援活動拠点整備事業へアンケート結果を情報提供、検討情報としてもらう） ・入所施設・GH等のハード面でサービスの情報の提供方法等が十分でない。どう情報を提供するのか。 ・災害時や支援者が居なくなった場合の緊急時の対応はどうするか。 ・セーフティーネットサービスは現在宇和島市ではまだ検討中。今後障がい福祉サービスと共同出来る可能性はどうか。 	